

A decorative border with floral motifs in the corners and horizontal lines across the top and bottom.

平成29年第3回富谷市議会定例会

挨拶

平成29年8月31日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

1. はじめに

本日ここに、平成29年第3回富谷市議会定例会が開催されるにあたり、提出議案の説明に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像、「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組み概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

まず、7月に発生した、九州北部を襲った記録的な豪雨により犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、速やかに市役所及び各出張所に「災害義援金募金箱」を設置し、市民の皆様からの善意を受け付けてきたところでございます。ご協力いただきました募金につきましては、日本赤十字社を通じて全額被災地に届けられることになっております。

また、7月下旬には秋田県においても記録的な大雨により浸水被害等が発生するなど、各地で大雨や台風による災害等が発生していることから、本市といたしましても、市民の生命、財産を守るため、改めて関係機関との連携を深めながら、危機管理体制の強化に努めてまいります。

それでは、「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた各種施策の取組み概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、環境省公募事業、「地域連携・低炭素水素技術実証事業」の採択について申し上げます。

本事業については、先の議員全員協議会でもご説明申し上げましたが、本市が進める「まちづくり」に賛同する、みやぎ生活協同組合、株式会社日立製作所、丸紅株式会社と本市が共同で企画提案したプロジェクト、「富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証」が、全国6例目・東北の自治体では初の採択となり、事業を開始することとなりました。

また、本事業については、地元報道機関はもとより、全国紙や各地の地方紙など多くのメディアでも取り上げられるなど、大きな関心を集めております。

本事業の概要といたしましては、成田9丁目にある「みやぎ生協・コープ富谷

共同物流センター」の太陽光発電設備を活用して水素を製造し、生協の既存物流網で住宅や店舗に水素を運び、その水素をエネルギー源として熱や電気に利活用するという社会実証を行うもので、期間は3年間で、全額、国（環境省）負担の委託事業となります。

この実証は、県が進める「みやぎ水素エネルギー利活用推進ビジョン」に呼応した取り組みでもあり、実施に当たっては、県をはじめとする関係機関との連携を、これまで以上に図りながら行ってまいります。

本市といたしましては、現在、建設準備を進めている日吉台小学校児童クラブ棟に純水素燃料電池を設置し、実際に水素を利活用することを通じ、「富谷市総合計画・前期基本計画」に掲げる「地球環境への貢献につなぐエネルギー地産地消のまちづくり」・「低炭素社会形成に向けた取り組み」を進めてまいります。

なお、児童クラブへの純水素燃料電池設置費等の経費については、本実証の事業費とは別に、来年度予算計上を予定しておりますが、財源には、「みやぎ環境交付金」を活用する方向で準備を進めております。

また、8月28日に内部組織として「富谷市低炭素水素実証事業推進本部」を設置し、実証事業を円滑に推進するための体制整備を図ったところです。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と前期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

（1）商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

富谷市シルバー人材センターでは、7月26日にしんまち通りに「ギャラリーなごみ」をオープンしました。宿場町の面影を残す古民家を、風情を残したままリフォームし、手仕事により製作した小物類の販売とお客様との交流の場として、開宿400年祭を視野に、しんまち地区のにぎわい作りに寄与していただけるものと期待しております。

また、上桜木地区に立地している、半導体製造機器等に使用される高機能性樹脂部品の加工・販売を行う株式会社八十島プロシードでは、第二工場の建築工事に着工しており、今後、新たな製造ラインが増設されることに伴い、新規雇用

の創出も期待されるところです。

企業誘致については、8月2日に、東京で開催した「宮城県企業立地セミナー」に参加し、多くの企業関係者に直接、富谷市の魅力をPRしてきたところです。

今後も引き続き、高屋敷地区や成田2期北地区への企業立地へ向けてトップセールスに努めてまいります。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

先の第2回定例会において可決いただき本契約を締結した、「(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザ整備工事」については、予定通り改修工事に着手し、順調に進捗しております。

また、施設の運営・管理を検討するにあたり、「(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザ運用計画策定支援業務」の受託者を、今月、プロポーザル方式により決定し、運用計画の策定を進めることとしております。今後、施設の運営・管理に関する関連条例等の整備とともに、来年7月の施設オープンに向けて、起業・創業支援事業施策の準備を進めてまいります。

(3) 農業関連施策について

次に、農業関連施策について申し上げます。

畑作振興に係るビニールハウスの助成事業については、2名から2棟の申請があり、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

農作物有害鳥獣被害防止対策事業については、イノシシによる農作物等の被害防止への支援策として創設した助成事業への申請が4件ありました。

今後は、被害が拡大している状況を踏まえ、市内全域での被害防止対策を視野に入れ検討してまいります。

とみやはちみつプロジェクト事業については、今年度は、NPO法人SCRの方々と公募による市民の皆様21名が参加し、4月から7月にかけて7回採蜜を行い、130kgを超える量を採ることができました。採蜜したハチミツは、「とみや国際スイーツ博覧会」におけるスイーツの食材や各イベントなどで活用する予定です。また、今後は、初めての越冬に向けた養蜂に取り組んでまいります。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興施策について申し上げます。

今年で8回目を迎えた「ブルーベリースイーツフェア」については、初参加の2店舗を加え、市内スイーツ店12店舗によって開催され、広く富谷産ブルーベリーの旬の美味しさをPRできたものと思っております。ご協力いただきました富谷市ブルーベリー生産組合及び参加協力店の皆様に改めて感謝を申し上げます。

「とみや国際スイーツ博覧会」については、東北放送株式会社との運営契約を取り交わし、6月に設立した実行委員会を中心に具体的な企画内容について協議検討を進めております。これまで関連事業として、市のPRと合わせて、国際スイーツ博覧会の開催PRのため、「東北絆まつり」や「TBC夏まつり」など、各種イベントにおいて積極的に告知に努めてまいりました。今後、さらに多様なメディアを活用したPR活動を展開しながら、出展ブースや協賛企業の誘致を積極的に進め、昨年以上に盛り上げ、地方創生総合戦略の目標達成へ向けて、とみやシティブランドの確立を図ってまいります。

「とみやふるさとまつり」については、8月8日に実行委員会を設置いたしました。11月12日の開催に向けて、これまでの状況や実行委員の皆様のご意見を踏まえながら、代官松まつり実行委員会と協議・調整を図り、多くの市民の皆様にご来場いただけるような、ふるさとまつりを開催してまいります。

また、今回は、伊達政宗公生誕450年記念プロモーションとして、宮城そして富谷の素晴らしい歴史の再発見につながるような内容を検討しておりますので、議会の皆様にもご支援の程、よろしく願いいたします。

本市の公式キャラクター「ブルベリッ娘とブルピヨ」については、今回、初めて「ゆるキャラグランプリ2017」にエントリーいたしました。県内1位、全国100位以内を目指しておりますが、エントリー数1,143体のうち、本日現在、順位は87位と、初参戦ながら善戦しております。

なお、投票期間は8月1日から11月10日までとなっておりますので、市職員はもとより、議会の皆様、市民の皆様におかれましても、是非、投票をお願いいたします。一日一回投票できますので、ご家族ご親戚の皆様へのお声掛けも、是非、よろしく願いいたします。

この度、「知ってもらおう」「訪れていただく」「住んでもらおう」をコンセプトに本市の魅力を効果的に広く発信するため、PRポスターを2種類制作いたしました。

本市の特徴的なイメージとして上げられるのは「奥州街道宿場町」「発展し続けるまち」でありその魅力をアピールできるような、また、富谷市市民歌の歌詞をイメージできるようなポスターとして「歴史いきづくまち」「未来かがやくまち」をテーマに制作しております。今後、市内外、特に市外でポスターを掲示し

本市をPRしてまいります。

(5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

公共交通については、本市の公共交通全体の将来像を描く「公共交通グランドデザイン」の平成31年度中の策定に向けて、昨年度実施した「公共交通利用に関するアンケート調査」の分析を進めながら交通課題を整理し、今後の公共交通軸形成を図っていくための基礎資料として準備を進めてまいります。

なお、当該アンケート分析に要する経費については、今年度も引き続き、地方創生推進交付金の対象事業として認められ、実施することとなりました。

新交通システム導入については、2年間の調査結果を踏まえ、更に段階的な検証作業を深めてまいります。

市民バスと路線バスとの乗り継ぎ実証運行事業については、「市役所便」に加えて、6月1日から運行が始まりました「イオン富谷便」の周知に努め、泉中央駅区間までの低額運賃による運行により、更なる利便性の向上を図ってまいります。

(6) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

市道の維持管理事業については、あけの平12-1号線と成田西部線の舗装修繕工事を7月に契約締結し、工事に着手いたしました。あけの平12-1号線については11月中の完成を、成田西部線については年内の完成を予定しております。

また、側溝有蓋化事業については、富ヶ丘地区、鷹乃杜地区、太子堂地区の側溝整備工事を7月に契約締結し、工事に着手いたしました。富ヶ丘地区及び鷹乃杜地区については年内の完成を、太子堂地区については来年1月の完成を予定しております。

市道の道路改良事業については、昨年度から繰り越した穀田三ノ関線の詳細設計修正業務を進めており、宮城県公安委員会との協議が終了し次第、用地の購入を進めてまいります。

また、富谷12-1号線については、引き続き、用地の購入について地権者と協議を進めてまいります。

(7) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

「富谷市国土利用計画」の策定については、議員全員協議会でご説明申し上げましたとおり、本定例会に議案として提出しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

また、「仙塩広域都市計画 第7回定期見直し」については、富谷市のこれまでのまちづくりの成果と編入要望地区の事業内容が認められ、住居系3地区、工業系3地区全てが県の候補地区に位置づけられました。今後は、市街化区域編入に向けて関係機関と協議・調整を図り、富谷市総合計画をはじめとする各種計画の実現に向けて努めてまいります。

(8) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

都市公園については、富ヶ丘四丁目第2公園、とちの木2号公園及びあけの平一丁目東公園において、設置から30年以上経過した遊具の交換工事を進めており、11月中の完成を目指しております。

また、明石台二丁目公園では、設置から20年以上経過した木製遊具の交換工事を進めており、こちらも11月中の完成を目指しております。

あけの平三丁目公園の老朽化したフェンスの交換工事は、8月中に完成いたしました。

水道事業については、安心・安全な水の安定供給を図るため、富ヶ丘四丁目及び鷹乃杜二丁目において、漏水防止と管路の耐震化のための配水管更新工事を実施しております。また、富谷配水池については、経年劣化による塗装の剥離が進んでいることから、来年1月中の完成を目指し、全面を再塗装する改修工事を実施しております。

第2回定例会の補正予算に計上しておりました、鷹乃杜浄水場急傾斜地の測量及び実施設計業務については、8月に契約締結し、業務に着手したところです。

下水道事業については、施設の延命化を目的とする「長寿命化計画」に基づき、富谷1号汚水幹線の人孔改築工事と成田第1汚水中継ポンプ場のゲート設備改築工事を7月に契約締結し、工事に着手しております。

公営墓地の整備検討については、パークゴルフ場との一体整備を念頭に置いた、「(仮称) やすらぎパークとみや整備基本計画」策定について、7月末にプロポーザル方式により受託業者を決定いたしました。業者との協議を進め、今年度

末までに業務が完了する予定となっております。

(9) 自然環境・公園緑地関連施策について

次に、自然環境・公園緑地関連施策について申し上げます。

大亀山森林公園については、バーベキュー広場の野外卓交換工事とアスレチック遊具修繕工事を5月に契約締結し、9月中の完成を目指して工事を進めております。

河川の維持管理事業については、市内の調整池や接続する水路周辺などの除草業務が8月中に完了いたしました。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

富谷市教育振興基本計画の策定については、7月12日に第1回目の教育振興基本計画策定委員会を開催し、委員の皆様から、それぞれの立場、視点から、学校教育、生涯学習、芸術文化、スポーツなどについてご意見を伺いました。今後さらに、実態の調査等を行いながら、策定を進めてまいります。

富谷市立幼稚園運営審議会については、本市教育委員会からの諮問を受け、第1回目の審議会を8月10日に開催いたしました。今後、市立幼稚園の方向性について審議を重ねていただき、意見をまとめてまいります。

幼稚園・学校施設及び設備の整備については、幼稚園児及び児童・生徒が安心して学べる環境の整備・充実を図るため、修繕工事を、順次進めているところですが、今年度に入り、経年劣化や急な故障などにより、早急な施設等の修繕対策が必要となっております。また、富谷幼稚園においては、3歳児保育を実施しておりますが、3歳児がより安全に安心して十分な外遊びができる環境整備がより必要となっております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

いじめ防止の取組みについては、今年度から、スクールソーシャルワーカーの定期巡回訪問を実施し、各学校のいじめや不登校の事案に対して、支援を実施し

ております。また、6月29日に富谷市いじめ問題対策連絡協議会並びにいじめ問題対策調査委員会を開催し、いじめ発見後の迅速で組織的な対応のあり方や、いじめが起きない学級・学校づくりについて協議し、実践に努めております。

さらに、第2回生徒会サミットを開催し、昨年度制定した「ネットトラブル0宣言」に向けた一年間の取組みを発表し合いました。中学生自身による主体的な取組みを今後も続け社会問題化している、いじめの防止に継続して取り組んでまいります。

(2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

新規事業であります富谷市中学生海外派遣事業については、2回の事前研修を経て、中学生25名が3泊4日の行程で台湾を訪問し、英語に先進的に取り組む学校との交流やショートホームステイ、本市成田出身の日系企業の工場長からの講話などの研修を主体的に活動いたしました。台風のため、到着が一日伸びましたが、充実した研修を積んできたとの報告を受けております。さらには、この研修で培った国際性やリーダー性を、各中学校で広めていくとともに、研修の成果をまとめ、発表する機会を設けてまいります。

(3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

図書館整備関係については、富谷市次世代型図書館づくり支援業務の受託業者を、6月にプロポーザル方式により決定し、具体的整備につながる、本市にふさわしい次世代型図書館の骨子作成に取り組んでいるところです。

具体的には、市内有識者とのヒアリング、昨年度実施した富谷市次世代型図書館づくりに向けた市民ワークショップ事業報告書を活用した勉強会やモデルとなる図書館の視察及び本市以外の有識者ヒアリングなどを実施するとともに、今年11月には市民集会も開催する予定です。

(4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

市制施行一周年記念事業として実施する「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」については、10月8日に開催いたします。現在、約2千名の参加者を予定

しており、内容については、午前6時に開会、午前6時30分からNHKラジオによる全国放送のラジオ体操を実施し、その後、ラジオ体操の関係機関表彰及びラジオ体操のポイントレッスンをを行う予定となっております。

また、当日の参加計画といたしまして、各行政区や関係機関に依頼するほか、ラジオ体操連盟からの一般参加などを計画するとともに、多くの市民の皆様に参加していただけるよう周知を図ってまいります。

(5) 芸術・文化関連施策について

次に芸術・文化関連施策について申し上げます。

本市の各団体・学校等の音楽活動を推進し、音楽の奏でる様々な音の調べや重なり合う音色の素晴らしさを市民の皆様伝えることを目的に、宮城県芸術協会等と共催し、「みやぎミュージックフェスタ 2017in とみや」を来年2月25日、成田公民館で開催することとなりました。開催内容につきましては、実行委員会を組織して進めておりますので、決定し次第、周知広報に努めてまいります。

なお、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

(6) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

待機児童対策については、県の子育て支援対策臨時特例基金を活用して、新たな小規模保育室の整備を進め、来年4月の開所を目指してまいります。

また、保育士不足に対応するため、人材派遣業を活用し、保育士の確保に努め、一刻も早い待機児童ゼロ達成を目指してまいりたいと考えております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

現在、整備を進めております、杜乃橋地区の「(仮称) 富谷こども園」については、9月末竣工、12月1日開園を目指して、社会福祉法人三矢会と協議を進めております。

年度内の開所を目指し準備を進めてまいりました日吉台小学校児童クラブ棟整備事業については、8月28日に入札執行、落札者が決定し、契約締結する運びとなったところです。

今後については、国庫補助金の内示が7月末となったことから、当初予定か

らやや遅れがあるものの、来年1月末竣工、年度内開所を目指し、運営事業者とも連携を密にしながら、より良い環境整備に努めてまいります。

とみや子育て支援センター運営事業については、7月8日、子育て支援を進める県民運動の一環として、宮城県と本市の共催による「はぴるぷフェスタ in とみここ」が、とみや子育て支援センター・とみここ、を会場に開催されました。当日は、講演会や、「あそびうたコンサート」が行われ、約80名の親子に参加いただき、とみこのPRにも一役買っていただいたところです。

今後もできるだけ多くの皆様に「とみここ」を気軽にご利用いただけるよう、周知・啓発に取り組んでまいります。

4. 「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

相談窓口や高齢者支援サービスをわかりやすくまとめた冊子「高齢者のためのケアパス」を作成し、各地域包括支援センター等に配付いたしました。この冊子は、高齢者ご自身はもとより、ご家族や高齢者を支援する地域の方々、関係支援機関の皆様のガイドブックとして、ご活用いただければと思っております。

また、高齢者の介護予防と仲間づくりを目的に実施しております「ゆとりすとクラブ・サロン事業」については、6月15日に新たに明石地区に設立され、全21か所となりました。現在、ゆとりすとのメンバーとサポーター合わせて957名の登録となり、活動の輪が広がっているところです。

平成30年度から32年度までの3か年を計画期間とする「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」の策定については、法改正や国が示す基本方針とともに、実態把握調査の課題分析を踏まえ、介護保険運営委員会や保健福祉総合支援センター運営協議会において審議を賜りながら、パブリックコメントを経て、今年度末の策定に向け、取り組んでまいります。

(2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

まず、健康づくりの推進でございますが、5月末から実施しております各種住

民検診は、現在、乳がん検診と脳検診を実施しており、残るは胃がんの未検者検診と成人歯周疾患検診となっております。

受診状況は、8月21日現在で、延べ29,680人が受診されており、特定健康診査については3,947人が受診され、受診率は、昨年度より0.3ポイントの増加となっております。

また、3月に策定した「健康推進計画」及び「食育推進計画」に基づき、協会けんぽ宮城支部をはじめ大学や民間企業との共同事業として、商業施設を活用した健康講座や相談事業を企画し、開催の準備をしております。

食育推進事業についても、野菜の摘み取り体験等、生産者と小学生との交流事業など関係事業を実施し、計画の推進を図っているところでございます。

(3) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

来年度から県単位化となります国保制度の改正関係については、10月の国民健康保険証の年次更新事務に併せて、その概要等について、被保険者の皆様にご案内してまいります。

なお、後期高齢者医療保険については、7月中に保険証の年次更新が終了し、8月から新しい保険証でご利用いただいているところです。

引き続き、国民健康保険の安定的な運営と後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めてまいります。

(4) 障がい者支援関連施策について

次に、障がい者支援関連施策について申し上げます。

本市の障がい者三団体である、手をつなぐ育成会・精神障害者家族会・身体障害者福祉会の主催による「ステップアップフェスタ2017」が、7月2日に成田公民館を会場に開催され、会員や賛助会員等62名が集い、楽しい一時を過ごされました。今後とも、当事者やご家族等のご意向に十分配慮しながら、各障がい者団体の活動について広く周知啓発に努め、障がいの有無に関わらず誰もが安心して過ごせるまちづくりを目指してまいります。

「富谷市障がい者計画・第5期障がい福祉計画」の策定については、実態把握調査等の結果を踏まえ、障がい者施策推進協議会においてグループ討議などにより骨子の策定を進めているところです。

今後は、パブリックコメントを行いながら、年度内策定に向けて取り組んでま

いります。

(5) 障がい者・高齢者支援関連施策について

次に、障がい者・高齢者支援関連施策について申し上げます。

外出支援乗車証「とみばす」については、今年度の新規交付申請の受付を6月と7月の2回に分けて実施し、障がい者と高齢者を合わせて、395名の申請がありました。内訳は、障がい者54名、高齢者341名となっております。今後は、9月末までの発送に向けて準備を進めるとともに、次年度に向け検証してまいります。

5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

今年の本市での出火発生件数は、7月末現在で9件となっており、昨年同時期に比べて1件の減少となっております。

非常備消防の消防力の強化については、既に、富谷市消防団第二分団二ノ関班への小型動力消防ポンプ軽積載車の配備が完了し、現在、第三分団今泉班への配備を進めているところです。

6月11日には、富谷小学校を会場に「富谷市消防団消防演習」を開催いたしました。議会の皆様には、何かとご多用の折、ご参列を賜り、出場団員に温かいご声援をいただきましたことに対し、改めて感謝を申し上げます。

8月21日には、地域の防災・災害情報提供や高齢者見守り活動、道路損傷等発見時の協力体制の強化を図るため、市内四つの郵便局と「地域における協力に関する協定」を締結いたしました。

今後も関係機関との協定締結を進め、連携を強固なものとしながら、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

9月30日には、富谷小学校をメイン会場に、また18の町内会館をサブ会場に、富谷中央公民館管内を対象とした「富谷市総合防災訓練」を実施することとしております。

現在、関係町内会をはじめ、学校や関係機関と実施内容等について協議を進めているところですが、この訓練が、あらためて大規模災害時における、「自助・

共助・公助」という役割分担の認識と、防災意識の醸成、向上の機会となるよう努めてまいります。

(2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

本市の交通事故発生状況については、7月末現在、人身事故が83件と昨年同時期に比べて5件増加し、物損事故も713件と13件の増加となっております。

なお、9月21日より30日までの10日間、「追突事故の防止」を重点項目に加えた「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が展開されることとなっており、本市におきましても、9月21日に富谷市出動式を挙行し、交通安全意識の普及を図りながら、交通事故防止に向けた取り組みを推進してまいりますので、死亡事故ゼロを継続すべく皆様方のお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

防犯灯については、LED防犯灯への交換工事を5月に契約締結し、8月末までに太子堂地区、日吉台地区、鷹乃杜地区、東向陽台地区の交換作業が完了しました。残る富ヶ丘地区と、ひより台地区につきましても順次作業を進め、10月末までに今年度予定している6地区1千灯の交換工事を完成させることとしております。

消費者保護については、6月より国民生活センターが運営する「全国消費生活情報ネットワークシステム、略称P I O-N E T (パイオネット)」への接続を開始いたしました。

このことにより、国民生活センター及び各地の消費生活センター等が受け付けた相談情報のデータベースを、本市で開設している消費生活相談窓口でも閲覧が可能となったものです。

今後とも、当該システム等を活用しながら、消費者被害の救済及び未然防止に努めてまいります。

(3) 人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

人権尊重や男女共同参画の視点を織り込んだ防災・減災の取組みについて理解を深め、実践につなげることを目的として、10月30日に、「男女共同参画・多様な視点からの防災実践講座」を、宮城県との共催により、本市において開催することといたしました。

あらためて、関係者の皆さまにはご案内させていただきますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

このような事業を契機に、今後ともより一層の人権尊重、男女共同参画の推進に努めてまいります。

(4) 環境衛生関連施策について

次に、環境衛生関連施策について申し上げます。

8千ベクレル以下の汚染廃棄物の県内一斉処理については、私も市町村長会議において、石積地区住民の皆様への反対の意思を明確に伝えてきたところであり、議員全員協議会でご説明しましたとおり、今般、汚染廃棄物の焼却は、保有する圏域内で行うこととなったことから、仙台市焼却施設へは搬入されず、石積地区への汚染廃棄物焼却による焼却灰の埋め立てはなくなりましたので、改めてご報告させていただきます。

空き家対策については、空き家所有者に対する意識調査、職員による市内全域の外観調査が終了し、今後は空き家情報を集積してまいります。併せて、空き家対策の指針となる計画については、策定に向けた検討を行ってまいります。

リサイクル推進については、使用済み小型家電から回収した貴金属でメダルを作るという趣旨のもと、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加いたしました。今後も、様々な機会を捉えながら、リサイクルの推進に努めてまいります。

(5) 省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

二酸化炭素の排出量と電気料金の削減を目的に、今年度、本市では、防犯灯と道路照明灯のLED化工事を進めております。防犯灯については、先ほど申し上げましたとおり、10月末の完成を目指して、6地区で1千灯の交換工事を実施しております。また、道路照明灯については、昨年度に引き続き「みやぎ環境交付金」を活用し、成田地区の道路照明灯145灯をLED仕様に交換する工事を、11月末の完成を目指して進めているところです。

(6) 住民参加・協働関連施策について

次に、住民参加・協働関連施策について申し上げます。

町内会館の整備については、現在、穀田町内会館の設計業務を進めております。

今後、地元町内会を始め、関係機関と協議を重ねながら、平成 30 年度の建設に向けて鋭意取り組んでまいります。

市民が自由に意見提案できる場として設置している「とみやわくわく市民会議」については、8月21日に「若者・外国人によるとみやシティブランドの確立について～とみやの新たな魅力を発掘しよう!～」をテーマに大黒澤苑を会場に実施いたしました。

ご出席いただいた委員の皆様からは、富谷の新たな魅力づくりにつながる新鮮なアイデアなど、貴重なご意見ご提言をいただいたところです。

今回は、「地域を支え担う人材をはぐくむまちづくり～“生き生き”とした第二の人生のために 男性の地域デビュー～」をテーマに、10月下旬に開催を予定しております。

引き続き、市民の声が届く市政運営の実現に向けて、計画的に取り組んでまいります。

(7) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

行政改革の推進については、7月21日に第1回行政改革懇談会を開催し、委員の皆様からは、行政改革基本方針案を中心に幅広い視点から多くのご意見を頂戴することができました。引き続き検討を重ね、今年度末までに行政改革基本方針及び実施プランを策定してまいります。

来年度の職員採用については、7月23日に上級行政及び中級保育士の第一次試験を実施し、113名が受験いたしました。

8月28日及び29日には、第二次試験を終えたところであり、今後、最終合格者を決定の上、必要な人員を確保してまいります。

職員研修については、7月19日及び20日の二日間にわたり、トヨタ自動車東日本株式会社の常務執行役員・宮城大和工場長の野中敏行様を講師としてお招きし、「働き方改善講演会」を開催いたしました。183名の職員が受講し、「時間を大切にす文化」や「時間管理に関する諸施策」等、取組実例を交えてご講義いただき、職員の意識改革を図る機会となりました。

改めて、大変お忙しい中二日間にわたりご講演いただきました、トヨタ自動車東日本株式会社の野中常務執行役員に感謝と御礼を申し上げます。

本市の「人材育成基本方針」については、平成17年3月に策定し、職員の資質向上を図ってきたところですが、市制施行に伴い多様化・高度化・専門化する

住民の期待に的確に応えるべく、職員意識の高揚や能力開発等、人材育成の更なる推進を図るため、8月1日付けで「富谷市人材育成基本方針」を改訂いたしました。

本方針につきましては、既に庁議等で職員への周知を図っており、今後は全職員が一丸となり、継続した取り組みを着実に実施できるよう努めてまいります。

平成29年富谷市功労者表彰式については、11月3日の開催を予定しております。多年にわたり富谷の発展にご活躍されました功労者の方々に対しまして、これまでのご尽力とご功績に感謝の意を込めて表彰式を行うこととしております。議会の皆様をはじめ、ご来賓の皆様とともに、功労者の方々へのお祝いをしたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

市税については、改めまして、市民の皆様には納税に対しまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く感謝を申し上げます。

今年度当初の市税課税額については、総額で54億2千8百万円と、昨年度と比較いたしますと、1億3千8百万円の増加となり、内訳については市民税で3千7百万円、固定資産税で9千5百万円、軽自動車税で6百万円の増加となっております。

また、4月より開始したコンビニ収納の状況ですが、7月31日現在で18,075件となり、全体納付件数の19.2%を占めております。

マイナンバーカードの活用については、4月より開始した「キオスク端末」を設置しているコンビニ等で住民票の写し、印鑑登録証明書や所得証明書などの取得を可能とし、利便性向上を図ったところであります。

また、本市のマイナンバーカードの交付状況は7月31日現在4,425人で、交付率は8.4%です。引き続きマイナンバーカードの普及及び活用に努めてまいります。

6. 提出議案について

最後に、提出議案の概要について申し上げます。

議案第1号、「富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正」については、一般廃棄物の処理手数料について所要の改正を行うものでございます。

議案第2号、「富谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改

正」については、根拠法令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。

議案第3号から議案第8号までについては、平成29年度各種会計補正予算で
ございます。

議案第9号、「富谷市国土利用計画の策定」については、市制施行及び諸情勢
の変化に伴い、国土利用計画を新たに策定するものでございます。

諮問第1号及び第2号については、人権擁護委員の候補者の推薦につき、議
会の意見を求めるものでございます。

認定第1号から第6号までについては、平成28年度の各種会計決算について、
その認定をお願いするものでございます。

以上、予算外議案3件、予算議案6件、人事案件2件、決算認定6件の概要を
申し上げましたが、議案審議の際には、詳細にご説明いたしますので、慎重にご
審議を賜り、全案件ご可決下さいますよう、お願い申し上げます。